

科学の楽しさ・驚き・感動を体験  
 第7回かがく博覧会

SCENE 1



**第7**回かがく博覧会が、10月1・2日の両日、おのだサンパークで開催され、2日間で3,250人が来場しました。山口東京理科大学や市内4つの高等学校、6つの企業ブースが出展。市内の小中学生が夏休みに作った科学作品も展示され、2日には、優秀作品の表彰式が行われました。毎年人気の山口東京理科大学によるサイエンスショー「低温の世界を体験してみよう！」では、液体窒素を使うと葉っぱや風船、マシュマロなどがどう変化するのかを実験。来場者は、わくわくしながら、科学の楽しさや驚き、感動を体験しました。

SCENE 2

「女性の日」講演会  
 男女双方の視点で災害対応を

**男** 女共同参画事業「女性の日」講演会を、10月8日、市民館で開催しました。静岡大学の池田恵子教授が「男女双方の視点で災害に強い地域づくりを」をテーマに講演。災害時に必要な対策や支援は男女によって異なること、双方の視点で共助を行うことの大切さを熱く語りました。



SCENE 3

竜王山ウォーク  
 絶好のウォーキング日和！

**今** 年で16回目を迎えた竜王山ウォークが、秋晴れの10月9日、開催されました。7kmと15kmのコースに分かれ、きららビーチ焼野を出発。参加者は、竜王山周辺の歴史や秋の自然を感じながら、隣の人に話しかけたりして、のどかな本山路をゆっくりと楽しんでいました。